

科目名	美術			担当教員	永井 崇幸		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	08G02 20140		
学習目標	構想画，デザイン画，あらゆる表現方法による絵画表現を通して，個々の創造力を伸ばし，豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて，自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して，独自のイメージを膨らませ，自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 構想画 － 未来都市を描く（8） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったイメージは，どのようにして引き出すことが出来るかを考える。 E6:1 ・CGの発達により，意識のないままに仮想現実（バーチャルリアリティ）があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して，独自のイメージとして表現することが出来る。 B2:1 ・未来の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することが出来る。 B2:1 ・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することが出来る。 B2:1 			
	2. デザインと描写 － 定められた空間の構成（10） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> ・自分でデザインする外形を決定する。 B2:1 ・指定された条件下で定型の形を生かして表現することが出来る。 B2:1 ・デザイン的な色面構成の中に精密な描写をすることが出来る。 B2:1 ・制作に必要な資料を準備し，テーマに沿った表現が出来る。 B2:1 			
	3. 自由制作（12） 着彩			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の制作に必要な参考の資料を準備する。 E6:1 ・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。 B2:1 ・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することが出来る。 B2:1 			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%），制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
学習・教育目標との関係	自らのイメージを豊かに膨らますことで，型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは，未来を担う技術者の育成に重要である。						
関連科目							
教材							
備考	自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは，随時受け付けます。						